

鉄チャン 知ったかぶり 盲腸線

紀勢本線

紀勢本線が盲腸線？。誰もが疑問に思われるところです。

紀勢本線は、S34年に紀勢東線と紀勢西線が、三木里～新鹿駅間が結ばれ、ようやく全通した旧国鉄にとっては、一番新しい(?)本線で、今年全通50周年を迎え、先ごろ記念行事が行われました。

紀勢本線は、基点が『亀山』で終点が『和歌山市』となっていますが、『新宮駅』から東側はJR東海が運用し、非電化区間で、西側はJR西日本が運用していて電化区間になっています。このため記念行事も、JR東海は『松坂駅』、JR西日本は『白浜駅』に分散して行われたが、名古屋、大阪の大都市圏での盛り上がりは今一つであったようです。

鉄チャン仲間では、かつての寝台列車『きのくに』が記念運行されたり、現在の優等列車『オーシャンアロー』『スーパーくろしお』『ワイドビュー南紀』の3列車を『白浜駅』に集結させて展示するなど、それなりに盛り上がっていました。



オーシャンアロー

スーパーくろしお

ワイドビュー南紀

(京都始発)

(新大阪始発)

(名古屋始発)

このように 紀勢本線は花形観光路線であり、大阪、名古屋の大都市圏の乗客に絞っているため紀勢本線の名古屋側は関西線経由で運行され、大阪方面は、和歌山駅で阪和線に接続して大阪天王寺まで運行されています。この結果、紀勢本線の終着駅『和歌山市駅』は忘れ去られた存在となり、『和歌山』～『紀和』～『和歌山市』の駅間、約3,3kmは、紀勢本線でありながら盲腸線となってしまいました。



現在は、105系のワンマン電車で、JRと南海電鉄の連絡線のような役割で十数本/日程度が運転されています。

『和歌山市』駅も、南海電鉄の駅舎を借用する形になっています。